



JBBF Report

2014年のJBBFの目指す方向

公益社団法人 日本ボディビル・フィットネス連盟 会長 玉利 齊



今年の JBBF の活動の方向性は一口で言えばボディビル連盟がボディビル・フィットネス連盟に変更したことから生じる新競技種目の設定にともなう様々な新たな動きへの対応が重要となる。

この対応を上手に乗り切れば JBBF は新たな発展に向かって前進する転期となることは間違いない。

何故フィットネスの一語が加わっただけでその様な未来が期待できるのだろうか？

フィットネスという言葉は元来適合するという意味で、一例をあげればワイシャツが身体にピッタリとフィットすると言う様に、人間が生活や社会に適応している状態を表すことになり、それが端的に日本語に訳されて「健康づくり」の一語に固定したと考えるとよいだろう。

さてこの「健康」と言う言葉くらい多様な意味を持ち、様々な価値を含んでいる言葉は無いと思われる。しかし社会での価値感とは時代の進展とともに変化に適応できずに価値感を失う存在も数多いが、「健康」という価値感だけは人類が地球に生存する限り永久不変の価値感として輝きを放つことは間違いない。

フィットネスの一語の重さはそこにあるので、従来のボディビルという言葉だけではどうしても筋肉の極限としての大きさや、逞しさや、美しさを追求する競技としての特性のみが強調され、ともすればトップボディビルダーだけが有する特別な世界と受け取られがちだったボディビルの概念を大きく変化させることに我々の目的があると云ってよい。

そこで、ボディビル競技としても筋肉の極限の発達のみを評価する競技に限定せず、筋肉の一定レベルの発達にプラスして体全体のシェイプアップ度とかシルエットとかパフォーマンス的動きとかを競い、それを評価する新しい種目を現在 IFBB が制定して推進している。

この新種目は女性ではフィットネス・ビキニ、男性ではフィジークの 2 種目で現在欧米では圧倒的な支持を受け、健康指向な競技者達が激増していることが認識されている。

このことは他のスポーツの競技種目を見ても同様に様々な種目に分類されている。水泳競技ならクロールやバタフライや平泳ぎもあり、更には飛び込みやシンクロナイズもある。

また陸上競技では大きくはトラックとフィールドに分かれ、更に細かく各種目に分類されているが、恐らくこれ等は長い年月をかけて発展的に様々な種目が生じて来たのだろう。

ボディビル競技は独立したスポーツ団体として成立したのは 1945 年であり、すでに 70 年の歴史を持つスポーツであるのだから、色々な競技種目が新しく生まれても不思議なことではない。

しかしここで大切なことは健康づくりだから全て個人の自由で何をどの様にやっても良いというのでは、個人が自主的なトレーニングとして行う場合や健康法の世界の話である。

オフィシャルなスポーツ競技団体が正式なスポーツ競技として実施する場合は、団体の定める競技ルールや運営規程等に従うのは自明の理と言えよう。

我が JBBF は 60 年の歴史を持つ日本で唯一の公益社団法人のボディビル・フィットネス連盟であり、かつオリンピック (IOC) に連なる日本オリンピック委員会 (JOC) に加盟するスポーツ競技団体であることを役員も選手も誇りをもって強く認識して頂きたい。そこで JOC の理念の一読をおすすめする次第だ。

◆JOC の理念

「JOC の使命は、全ての人々にスポーツへの参加を促し、健全な肉体と精神を持つスポーツマンを育て、オリンピック運動を力強く推進することにある。

オリンピックを通じて、人類が共に栄え、文化を高め、世界平和の火を永遠に灯し続けることこそ JOC の理想である。」

IFBB 公認による JBBF (2014 年) 実施競技種目一覧

男子部門 ①ボディビル競技 ②クラシックボディビル競技 ③フィジーク競技

女子部門 ①ボディビル競技 ②フィットネス競技 ③ボディフィットネス競技 ④フィットネスビキニ競技

国内大会の成績

(1) 第17回日本クラス別ボディビル選手権大会

主 管:北海道ボディビル・フィットネス連盟
開催日:平成25年7月21日(日)
実行委員長:涌島剛智三北海道連盟理事長
会 場:ホテルロイトン札幌 ロイトンホール

各クラスの優勝者

女子46kg級 菅原佳代子(青森)むつボディビル同好会
女子49kg級 石澤 静江(栃木)ゴールドジムスパレア宇都宮
女子52kg級 山野内里子(愛知)ゴールドジム名古屋金山
女子55kg級 足立 晃子(東京)ゴールドジムイースト東京
女子58kg級 廣田 ゆみ(愛知)廣田ボディビルセンター
男子60kg級 津田 宏(東京)トレーニングセンターサンブレイ
男子65kg級 鷺巢 国彦(長野)CRES-Mボディビル同好会
男子70kg級 浅野喜久男(愛知)マックトレーニングジム
男子75kg級 佐藤 貴規(東京)ゴールドジムイースト東京
男子80kg級 佐藤 茂男(東京)ゴールドジムイースト東京
男子85kg級 金子 芳弘(神奈川)スポーツマインド寒川
男子90kg級 井上 浩(大阪)ソティックヘルスジム

(2) 第24回ジャパンオープン選手権大会

主 管:福岡県ボディビル・フィットネス連盟
開催日:平成25年8月11日(日)
実行委員長:水嶋昭彦福岡県連盟会長
会 場:福岡県 北九州市 黒崎ひびしんホール

優勝

女子の部 石澤 静江(栃木)ゴールドジムスパレア宇都宮
男子の部 小松 慎吾(長野)トレーニングスタジオフィジーズ
ミックスドペア 河村 秀美(広島)広島トレーニングセンター
船木 郁子(広島)広島トレーニングセンター
ボディフィットネス 衛藤佳代子(東京)ゴールドジムイースト東京
フィットネス 野田 真奈(大阪)ジャングルジムSPORTS

(3) 第5回日本クラシックボディビル選手権大会

主 管:大阪ボディビル・フィットネス連盟
開催日:平成25年8月25日(日)
実行委員長:荒木章大阪連盟副会長
会 場:エルおおさか(大阪府立労働センター)

優勝

男子165cm以下級 原 哲矢(神奈川)横浜マリノストレーニングジム
男子168cm以下級 片岡 俊和(岡山)エイブルスポーツクラブ
男子171cm以下級 片川 淳(山口)Team焔神
男子175cm以下級 金井 雅樹(大阪)スポーツクラブトライ
男子175cm超級 村山 元(新潟)新潟トレーニングセンター
オーバーオール 村山 元(新潟)新潟トレーニングセンター
ベストアーティスティック賞 金井 雅樹(大阪)スポーツクラブトライ

(4) 第18回オールジャパンミスフィットネス選手権大会

主 管:大阪ボディビル・フィットネス連盟
開催日:平成25年8月25日(日)
実行委員長:荒木章大阪連盟副会長
会 場:エルおおさか(大阪府立労働センター)

優勝

オーバーオール 山下 由美(宮城)ゴールドジム仙台

(5) 第7回オールジャパンミスボディフィットネス選手権大会

(女子世界派遣選手選考会)

優勝

158cm以下級 衛藤佳代子(東京)ゴールドジムイースト東京
163cm以下級 山下 由美(宮城)ゴールドジム仙台
163cm超級 中村 静香(福島)ゴールドジム郡山福島
40才以上級 丹羽 裕子(京都)アキレストップジム
オーバーオール 中村 静香(福島)ゴールドジム郡山福島

(6) 第21回日本女子チャレンジカップボディビル選手権大会

主 管:日本社会人ボディビル・フィットネス連盟
開催日:平成25年9月1日(日)
実行委員長:五十嵐清四郎日本社会人連盟理事長
会 場:きゅりあん(品川区立総合区民会館)
優勝 小嶋 成子(神奈川)ヘルシーハウス厚木

(7) 第13回ミス21健康美大会

優勝 158cm以下 三船麻里子(東京)
163cm以下 太田美貴子(京都)
163cm超級 野田 真奈(大阪)
50才以上 水野 文江(愛知)
オーバーオール 太田美貴子(京都)

(8) 第25回日本マスターズボディビル選手権大会

実 行:JBBFマスターズ委員会
開催日:平成25年9月15日(日)
会 場:沖縄県 宜野湾市民会館 大ホール

各クラスの優勝者

男子 40 才 70kg 級 仲泊 兼也(沖縄)久場ボディビル同好会
男子 40 才 70kg 超級 高木 昇(神奈川)スポーツマインド寒川
男子 50 才以上級 片川 淳(山口)Team焔神
男子 60 才以上級 高岸 豊治(三重)フィットネスクラブ夢想
男子 65 才以上級 井原 茂(社会人)榊安美ボディビルクラブ
男子 70 才以上級 杉尾 忠(香川)さめきスポーツジム
男子 75 才以上級 金澤 利翼(広島)広島トレーニングセンター
女子 40 才以上級 清水恵理子(東京)ゴールドジムイースト東京
女子 50 才以上級 高松真里子(東京)ゴールドジムイースト東京

**(9) JOC ジュニアオリンピックカップ 2013 年第 25 回日本ジュニア
ボディビル選手権大会**

開催日:平成 25 年 10 月 14 日(月祝)午前

会 場:メルパルク東京ホール

- 成績
- 1 位 村上 勝英(大阪)マグナムフィットネスセンター
 - 2 位 班目 陽一(東京)トレーニングセンターサンプレイ
 - 3 位 池口翔へんり(茨城)土浦ボディビルクラブ
 - 4 位 西本 祐也(岡山)エイブルスポーツクラブ
 - 5 位 柴崎 吉識(埼玉)ゴールドジムさいたまスポーツアリーナ
 - 6 位 梅村 将斗(長野)松本トレーニングジム

(10) 2013 年第 8 回全国高校生ボディビル選手権大会

成績

- 1 位 鈴木 友也(愛知・私立愛知工業大学名電高等学校)
- 2 位 小川 拓海(埼玉・私立山村国際学園高等学校)
- 3 位 角田 斗磨(青森・青森県立三沢高等学校)
- 4 位 佐竹 優典(埼玉・私立春日部共栄高等学校)
- 5 位 青木 宏樹(群馬・群馬県立利根実業高等学校)
- 6 位 岡本 隆矢(静岡・私立御殿場西高等学校)

**(11) 2013 年第 59 回男子日本ボディビル選手権大会
2013 年第 31 回女子日本ボディビル選手権大会**

開催日:平成 25 年 10 月 14 日(月祝)午後

- | 成績(男子) | (女子) |
|---------------|---------------|
| 1 位 鈴木 雅(東京) | 1 位 山野内里子(愛知) |
| 2 位 田代 誠(東京) | 2 位 清水恵理子(東京) |
| 3 位 合戸 孝二(静岡) | 3 位 大澤 直子(東京) |
| 4 位 山田 幸浩(東京) | 4 位 神田 知子(大阪) |
| 5 位 須江 正尋(東京) | 5 位 足立 晃子(東京) |
| 6 位 須山翔太郎(東京) | 6 位 高原佐知子(東京) |
| ベストアーティスティック賞 | 鈴木 雅 |
| ベストアーティスティック賞 | 大澤 直子 |
| モストマスキュラー賞 | 田代 誠 |

日本選手権大会はインターネットによるテレビ実況中継、3 カメラス
イッチングにて Ustream で配信されました。大会終了後もパソコン
で視聴することができます。

アドレス <http://www.ustream.tv/channel/jbbf2013>

国際大会の報告

(1) 2013 年第 47 回アジア男子ボディビル選手権大会

2013 年 5 月 31 日～6 月 3 日 於:カザフスタン アルマトイ市

役員 団長 吉田 進 JBBF 副会長

監督 朝生 照雄 JBBF 選手強化委員長

成績

- 60kg 級 6 位 津田 宏(東京)
- 65kg 級 10 位 重岡 寿典(山口)
- 70kg 級 7 位 佐藤 貴規(東京)
- 75kg 級 8 位 山田 幸浩(東京)
- 80kg 級 10 位 須山翔太郎(東京)
- 女子ボディビル 52 kg 級 3 位 山野内里子(愛知)
- 女子ボディフィットネス 160cm 超級 3 位 中村 静香(宮城)
- 女子フィットネス 2 位 山下 由美(宮城)

役員 監督 後藤 剛 JBBF 理事

選手・成績

ボディビル 10 位 山野内里子(愛知)

フィットネス 163cm 以下級 10 位 山下 由美(宮城)

(4) 2013 年第 33 回世界マスターズボディビル選手権大会

2013 年 10 月 23 日～28 日 於:モンゴル ウランバートル

役員 団長 吉田 進 JBBF 副会長

監督 藤原 達也 JBBF 副会長

選手・成績

- 40 才 70kg 級 2 位 仲泊 兼也(沖縄)
- 50 才 80kg 級 5 位 奥村 武司(大阪)
- 60 才級 3 位 菊池 正幸(宮城)
- 65 才級 2 位 井原 茂(社会人)
- 女子マスターズボディビル 5 位 清水恵理子(東京)
- ボディフィットネス 45 才級 3 位 山下 由美(宮城)

(2) 2013 年第 12 回日韓親善ボディビル選手権大会

2013 年 9 月 7 日～10 日 於:韓国 ソウル

日本選手団

役員 団長 玉利 齊 JBBF 会長

監督 吉田 進 JBBF 副会長

選手 ボディビル男子 井上 博樹

ボディビル男子 重岡 寿典

ボディビル男子 辻田 勲

ボディビル女子 石澤 静江

**(5) 2013 年グアムナショナルボディビルディング&ボディフィット
ネス選手権大会&インターナショナルインビテーショナルボデ
ィビル大会**

2013 年 10 月 24 日～27 日 於:アメリカ準州 グアム

役員 監督 市川 櫻 JBBF 選手強化委員、JOC 強化スタッフ

選手・成績

- | | |
|---------|-----------|
| マスターズ | 1 位 廣田 俊彦 |
| マスターズ | 2 位 中村 貴裕 |
| 70kg 級 | 2 位 中村 貴裕 |
| 女子ボディビル | 1 位 大澤 直子 |

**(3) 2013 年女子世界ボディビル、フィットネス、ボディフィットネス
選手権大会**

2013 年 9 月 14 日～15 日 於:ウクライナ キエフ

女子ボディビル	2位 久野 礼子
女子 BF ショート	1位 小林有紀子
女子 BF オーバーオール	1位 小林有紀子
女子 BF ショート	3位 三船麻里子
女子 BF トール	1位 中村 静香
女子 BF トール	2位 山本加容子
65kg 級	1位 太田祐宇樹
80kg 級	1位 小松 慎吾
80kg 級	2位 近藤 一隆
女子 BF ショート	衛藤佳代子
女子 BF ショート	鈴木 光代
女子ボディビル	高松真理子
65kg 級	宮田 智也
70kg 級	伊熊 公一
65kg 級	斉藤 忠男
マスターズ	斉藤 忠男

役員 団長 玉利 齊 JBBF会長
 監督 吉田 進 JBBF 副会長
 コーチ 村上 洋之 JOC 強化スタッフ
 選手・成績
 70kg 級 3位 田代 誠(東京)
 70kg 級 15位 合戸 孝二(静岡)
 80kg 級 8位 鈴木 雅(東京)

(6) 2013 年第 67 回世界男子ボディビル選手権大会

2013 年 11 月 4 日～8 日 於:モロッコ王国 マラケチュ

(7) 2013 年第 8 回世界男子クラシックボディビル選手権大会

2013 年 11 月 15 日～18 日 於:オーストリア サング・ペルテン
 役員 監督 朝生 照雄 JBBF 選手強化委員会委員長
 選手・成績 168cm 級 6位 原 哲矢(東京)

(8) 2013 年度アーノルドクラシックアマチュアボディビル選手権大会

2014 年 2 月 27 日～3 月 1 日 於:アメリカ オハイオ州コロンバス
 役員 コーチ 村上 洋之 JOC 強化スタッフ
 選手 男子 80kg 級 鈴木 雅(東京)
 男子 70kg 級 田代 誠(東京)

平成 25 年度 JBBF 公認指導員認定講習会を開催

平成 25 年 11 月 30 日～12 月 1 日に大阪の大阪市立中央会館に於いて開催されました。

1級合格者(7名)

新井 敬子(大阪) 井上 義雄(大阪) 今井 良平(京都府) 菊池 智子(大阪) 鶴橋利恵子(大分県)
 中村 静香(福島県) 永長 孝敏(未所属)

2級合格者(22名)

阿部 一仁(未所属) 市原 康仁(徳島県) 岩尾 佳毅(兵庫県) 内田 智之(埼玉県) 大坂 大輔(東京) 小川 淳(大阪)
 河村 秀美(広島県) 国田 真紀(大阪) 齋藤 円(大阪) 澤田 勝(東京) 塩貝 直紀(東京) 篠原 茂清(京都府)
 清水 康志(東京) 寺地 永(京都府) 野島 賢(東京) 林 明正(広島県) 林 香岐(東京) 原 正行(広島県)
 平田 玲(愛媛県) 船木 郁子(広島県) 松井 克利(京都府) 山田 博(長崎県) (五十音順)



写真はホームページに掲載しています。



協力事業

1. 公益財団法人日本ユニセフ協会への協力

(1) ユニセフ・ラブウォーク中央大会

平成 25 年 4 月 7 日(日)

※荒天のため中止

(2) 第35回ユニセフハンド・イン・ハンドに協力

平成25年12月23日(祝)11:00~15:00 有楽町駅前広場にて

ボディビルゲスト出演 鈴木 雅 選手

連盟関係者のボランティアにて会場警備、並びに募金活動を行いました。

玉利齊会長、藤岡秀樹理事、角田和弘氏、上野俊彦氏、西勝氏、霜村光寿氏、林勇宇氏、小西康道事務局長、以上が参加、感謝状が贈呈されました。

2. NPO 法人 ジャパン ユニバーサルスポーツ・ネットワークへの協力

◇ユニバーサル駅伝(2013 スポーツ祭東京 2013 のデモンストレーション種目)

平成25年9月29日(日)9:30~14:30 東京・大田スタジアムにて

ボディビルゲスト出演 近藤一隆 選手、内藤健二選手、久野礼子 選手

ボディビルの啓蒙活動を目的として小西康道事務局長の選手紹介と司会進行により、ゲストポーズが行われました。

3. 東京都への協力

◇ニューススポーツ EXPO in 多摩 2014(予定)

平成26年3月15日(土)9:30~16:00 国営昭和記念公園 みどり文化ゾーン(ゆめひろば)にて

ボディビルゲスト出演 鈴木 雅選手、久野 礼子選手

1980年代より新しく考案、紹介されたスポーツや、レクリエーションの一環として楽しめるようアレンジされたニューススポーツを紹介する参加型のフェアが開催されます。是非会場へ足を運んでください。

平成26年度日本連盟主催大会・東西・ブロック大会予定

主催大会

①7月6日(日) 日本クラス別ボディビル選手権

岡山県 岡山市立市民文化ホール

②7月27日(日) ジャパンオープン選手権

埼玉県 志木市民会館パルシティ

③8月17日(日) オールジャパンミスフィットネス選手権

④8月17日(日) オールジャパンミスボディフィットネス選手権

⑤8月17日(日) 日本クラシックボディビル選手権

三重県 津リージョンプラザお城ホール

⑥8月24日(日) 日本マスターズボディビル選手権

宮城県 仙台市太白区文化センター

⑦9月6日(土) 日本女子チャレンジカップボディビル選手権

⑧9月6日(土) ミス21健康美大会

東京 品川区きゅりあん

⑨10月5日(日) 全国高校生・日本ジュニアボディビル選手権

⑩10月5日(日) 男子・女子日本ボディビル選手権

大阪 メルパルクホール

③7月20日(日) 関東クラス別ボディビル選手権

神奈川県 サンビアン川崎

④7月21日(祝・月) 東京クラス別ボディビル選手権

東京 かつしかシンフォニーヒルズ

⑤8月3日(日) 関東ボディビル選手権

千葉県 千葉市文化センター

⑥8月3日(日) 西日本ボディビル選手権

大分県

⑦8月17日(日) 東京ボディビル選手権

東京

かつしかシンフォニーヒルズ

⑧8月17日(日) 中四国ボディビル選手権

広島県

⑨8月24日(日) 東海マスターズボディビル選手権

岐阜県

⑩8月31日(日) 東北・北海道ボディビル選手権

福島県

いわき芸術文化交流館

⑪8月31日(日) 東海ボディビル選手権

静岡県

⑫8月31日(日) 関西クラス別ボディビル選手権

大阪

⑬8月31日(日) 九州・沖縄ボディビル選手権

長崎県

⑭9月7日(日) 関西ボディビル選手権

兵庫県

⑮9月15日(祝・月) 北陸甲信越ボディビル選手権

石川県

東西大会

①9月21日(日) 東日本ボディビル選手権

東京 江戸川区タワールホール船堀

②8月3日(日) 西日本ボディビル選手権

大分県

ブロック大会

①5月4日(日) 東京オープンボディビル選手権

東京 北とぴあ

②7月20日(日) オール関西フィットネス選手権

京都府 稲盛ホール

専門委員会より

◆審査委員会 委員長 中尾 尚志

●フィットネス審査員講習会

平成25年度からのフィットネス審査員の新制度発足にあたり、JBBF審査員資格取得者並びにフィットネス審査員ジャッジテスト受験者を対象に、フィットネス審査員講習会を開催することになった。

●平成25年度フィットネス審査員講習会

- 第1回フィットネス審査員講習会 8月24日(土)13:00～16:00
大阪市淀川文化創造館 受講者 21名
- 第2回フィットネス審査員講習会 8月31日(日)13:00～16:00
コンベンションルームAP品川 受講者 21名
- 第3回フィットネス審査員講習会 11月30日(土)11:30～14:30
大阪市立中央会館 受講者 3名
- 第4回フィットネス審査員講習会 11月30日(土)15:00～18:00
大阪市立中央会館 受講者 3名
- 第5回フィットネス審査員講習会 1月13日(月)13:30～16:30
ウイंकあいち 受講者 36名

●平成26年度の開催予定

- 3月30日(日) 広島市
4月13日(日) 仙台市
5月18日(日) 長野県中野市

●フィットネス審査員講習会講師

講義担当:審査委員会委員長 中尾 尚志
実技担当:女子委員会委員長 辻本 俊子
実技指導:女子委員会委員 斎藤 円

●JBBF 公認審査集計員認定講習

従来、JBBF主催及び加盟地方連盟の開催する選手権大会において、審査集計は手作業で行われていたが、1998年にコンピュータ上で動作する審査集計ソフトが開発され、以来JBBFではコンピュータによる審査集計を推進し、相当程度の普及をみた。この間、人為的ミスが最小限に抑えられるようにソフトに随時改良が加えられその結果、選手権大会当日の運営において迅速な処理が可能となった。ところで、ソフトにおける集計そのものの操作は簡便化が図られたが、集計に関する作業はやや増加傾向にあり、集計業務に関して一定程度の専門性が求められることとなった。これらの状況を踏まえ、スムーズな集計業務を可能とするためJBBFでは、審査集計員の公認制度を設けて公認審査集計員の育成に努めてきた。今後は、より多くの公認審査集計員を育てるために、平成25年度よりJBBF公認審査集計員認定講習会を実施することになった。

公認審査集計員認定講習会の開催は、JBBF主催大会は勿論のこと、ブロック大会及び地方連盟主催大会においても、JBBF公式審査ソフトを用いて審査集計することが義務付けられることを見越して、審査集計業務を指導することのできる審査集計員の育成・認定を目

的とするものである。

●平成25年度公認審査集計員認定講習会

12月1日(日) 11:30～14:30 受講者 3名
大阪市立中央会館
講師 審査委員会委員長 中尾 尚志
公認審査集計員 霜村 光寿
公認審査集計員 木下 美弥子

●ボディビル審査員ジャッジテスト(平成25年度)

1 級 受験者数:10名 合格:7名 不合格:3名
2 級 受験者数:14名 合格:7名 不合格:7名
3 級 受験者数:24名 合格:21名 不合格:3名
ジャッジトレーニング 受験者1名:合格

◆指導委員会 副委員長 野澤 秀雄

「好きなボディビルを自分の仕事にして一生過ごせたらいいなあ」と思う人が多いでしょう。指導委員会は昭和50年にボディビルを正しく教える人を養成する目的でスタートし、毎年「指導員認定講習会」を開催し、試験に合格した人に資格を与えてきました。平成25年末で一級244名、二級395名、三級(旧制度)122名、合計771名の登録者がいます。資格を得ることでJBBF公認指導員になり、自分のジムを持つことができます。また、全国各地のスポーツクラブや公共施設でJBBF公認指導員として本格的な筋トレを指導できます。

平成25年は11月30日・12月1日の2日間大阪で開催しました。参加者は約50名で少なかったのですが、皆さんの熱意に感謝しています。この講習会は石井直方先生を中心に、第一線で活躍されている先生方が渾身の講義をされています。そのテキストは詳細で一冊あれば一生の財産になります。

平成26年度も11月か12月に東京で2日間の開催を予定しています。要項が決まり次第、なるべく早くお知らせしますので、一人でも多くの方が参加申し込みをされるよう希望しています。本連盟にとっても、資格を持った指導員の方々は宗教で言う「伝道士」のように大切な宝なので・・・。

なお、5年たつと知識が新しくなるので、既得者も補講を受けることになっています。また、本連盟以外の資格所有者の場合も優遇制度があるので、ぜひ受講を申し込んでください。

◆女子委員会 委員長 辻本 俊子

活動報告 2013

新しく新設された、フィットネス審査員の講習会を審査委員会中尾審査委員長と実施させていただき、計5回開催で多くの選手・役員・審査員の方々に参加して頂きました。

講義では、審査委員としての知識・審査集計・審査方法など細かく説明があり又昨年の大会の様子を映像に写し、審査する際の注意

点をわかりやすく解説。実技では、選手モデルを使い、ウォーキング・立ち姿勢・ポージング・フィットネスにおけるパフォーマンスの評価方法を解説。審査に関する情報交換など、とても良いコミュニケーションが取れたと思います。来年度も、引き続き実施していきます。

◆アンチドーピング委員会 事務局長 青田 正 順

平成26年度アンチ・ドーピングへの取り組み

平成25年度のドーピング違反は全ての競技団体合わせて5名の違反者が出た、残念ながら4名の選手は日本ボディビル・フィットネス連盟(以降JBBF)の選手であり競技会検査3名、競技会外検査1名である。本年度よりJADAのReal winnerを受講することを日本代表選抜大会の出場条件としたが、今回陽性となった選手は全て受講した選手であった。

今回の選手達は2年間の資格停止期間が経過した後復帰できることとなるが、その為の条件として3ヶ月ごとに居場所情報を日本アンチドーピング機構(以降JADA)に提出しなければならない、対象選手は1日の生活の中の指定した時間内に検査を受けることとなる、検査は明日行かかもしれないし、1年後かもしれない、年間を通して薬物はもとよりサプリメントについても注意が必要だ、居場所情報を提出しないことによりドーピング違反になる場合もある。

競技会外検査はドーピング違反者だけの義務ではなく、ボディビルも含めて様々な競技種目の日本代表選手が日常的に受けているドーピング検査である。

なぜ4人もの選手が陽性になってしまったのか、知らないうちにサプリメントに入っていたのか、日常食べている食品の中に入っていたのか、誰かに作作的に飲まれたのか。答えは本人しか知らない。しかし他の競技団体の選手たちも一般的なサプリメントは摂取している、陽性者となった他団体1名の選手は使用した禁止薬物が競技種目への直接の効果は認められず、また検出された薬物がどのサプリメントに含有されていたかを明確に報告できたことにより3ヶ月の資格停止処分となった。

インターネットの普及により海外から直接禁止薬物を購入できるサイ

トもある、フェイスブックやブログなどで情報を交換するうちに禁止薬物を知ること、安易に購入できる時代である。スポーツ選手として競技成績を評価され、様々な年代の人たちへ感動と尊敬を与えられるのがボディビル競技ではないか。

JADAより2015年世界ドーピング防止規程及び国際基準の改訂計画によると、規則違反について事象や調査によるエビデンスの積み上げに基づき、「違反」を規定し、より厳格な制裁を求められる。新規として初回の違反に於いても最低2年～4年となり、度合いによる制裁期間の判定が与えられる、また18歳未満の競技者に対して競技会組織委員会による「親権者からの同意書」が必要となる。

JBBFは2014年度より違反者への罰則金として400,000円を科すこととなる、引き続きJADAのReal winner受講をジュニア・マスターズ大会まで広げて行い、競技会検査に於いて検体数を増やす計画である、競技会チラシやパンフレットなどへのアンチドーピング活動への文書の掲載も新たな内容に変更する、合わせて選手強化委員会や医学委員会との連携を強め全ての選手へアンチドーピングの理念を浸透させることに努める。

以上

◆広報委員会 委員長 辻 本 俊 子

活動報告 2013

今年も、多くの選手の皆様にご協力いただきボディビル・フィットネス競技を広める活動を行って参りました。ユニセフチャリティー募金他、各種ボランティアイベント・マスコミ出演など多くの情報を発信し、当連盟の活動を知っていただく機会を多く作りました。

又、今年ボディビル・ボディフィットネスの選手をアートとして撮影希望の問い合わせやビッグサイトで行われた美容関連のイベントに参加するなど、健康美・肉体美を披露する場所や機会も多様化してきたように思います。

事務局より

●新公益法人移行 平成25年4月1日に新公益法人となり、一年が経過いたしました。皆様のご協力に感謝いたします。

発行 公益社団法人 日本ボディビル・フィットネス連盟

東京都台東区浅草橋 4-9-11 TEL.03-5820-4321

ホームページ:<http://www.jbbf.jp>

広報委員会 委員長 辻 本 俊 子

事務局長 小 西 康 道

FAX.03-5820-4322

e-mail info@jbbf.jp

日本ジュニア、全国高校生、日本マスターズ選手権大会及びJBBF主催大会でのドーピングテスト(検査)はスポーツ振興くじ(toto)助成金を受けています。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



アンチ・ドーピングの スローピッチ ドラスティック

■JADAってなに？

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) は、
スポーツの価値を守るためアンチ・ドーピングに関する教育・
啓発活動を推進し、ドーピング検査等を実施する機関です。

■アンチ・ドーピングってなに？

アンチ・ドーピングとは、競技力を高めるために禁止され
た薬物や方法を使用せず、**公正で公平なスポーツに参加
する**というアスリートの権利を守り、**人間の可能性を極限
まで追求するスポーツの価値を守る活動**です。
スポーツを通して人や社会の発展を目的とし、全ての人々
が関わり、促進していくべき活動でもあります。

室伏 広治さん
(陸上・ハンマー投げ)

田辺 陽子さん
(柔道)

**JADA
アスリート委員**

アスリートを代表して、
アンチ・ドーピング活動を
推進中!!



JADAアスリートサイト
アスリートにとって必要な情報が入手できます!

Real Winner
アスリートの「良き助言者」役となって、
アンチ・ドーピングに
関する9つの
ストーリーを
体験できる。
Eラーニング・
プログラム
です。
<http://www.realchampion.jp/start/e-learning>

教育教材
アンチ・ドーピングを通して考える
～スポーツのフェアとは何か～
私たちが守りたい大
切なスポーツの価
値、努力するからこ
そ得られる本当の勝
利について、フェア
の観点を通して学び
ます。

アンチ・ドーピングガイドブック

アンチ・ドーピングガイドブックWEB版、およ
びAndroid、iPhoneアプリには、ガイドブック
全ての内容が掲載されています。マンガやクイ
ズ形式を用いてアンチ・ドーピングをより詳し
く、分かりやすく学べます。

WEB版
<http://www.realchampion.jp/start/comic>

Android版
<https://play.google.com/store/apps/details?id=org.playtruejapan.antidoping>

iPhone版
<https://itunes.apple.com/jp/app/play-true/id649670270>

<http://www.playtruejapan.org/>



真のチャンピオンのために、JADA
公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構
文部科学省委託事業

1986年に第39回世界ボディビル選手権大会が東京で開催され、IFBBはこの時からルールによって禁止薬物を定めドーピングテストを実施致しました。世界選手権の開催国だったJBBFはこれを受けて当日IOCのメディカルコミッティ委員だったケルン大学のドニケ医学博士と黒田善雄医学博士のご協力を頂き世界で初めてボディビル大会でのドーピングテストを実施致しました。

以来今日までJBBFは全ての国際大会で一人も陽性の失格者を出しておりません。JBBFは今後もボディビル界からドーピングを一掃し、ボディビルが健全で爽やかなスポーツである為の努力を継続致します。

具体的方法としては公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)と連携してJBBFのアンチドーピング委員会がドーピングテストをはじめ積極的なアンチドーピング活動を展開して参ります。一層のご理解とご協力をお願いする次第であります。

公益社団法人 日本ボディビル・フィットネス連盟 会長 玉利 齊